

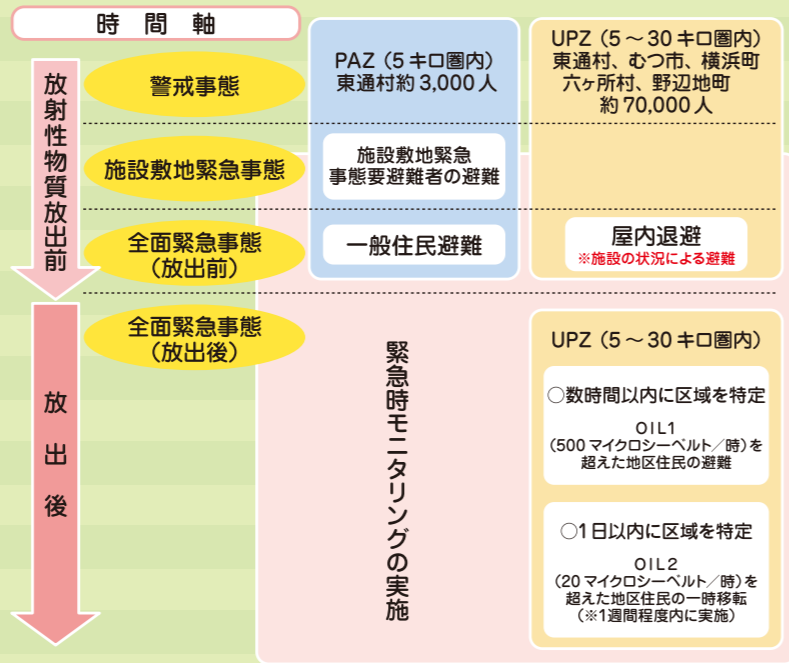
お知らせ

原子力災害避難対策検討会を開催しました

県地域防災計画（原子力編）に基づく避難の考え方

青森県地域防災計画（原子力編）では、東通原子力発電所において全面緊急事態になると、PAZ圏の住民は原子力発電所から放射性物質が環境へ放出される前に、避難を開始します。UPZ圏の住民は全面緊急事態では屋内退避を行うこととしています。また、UPZ圏内であっても原子力施設の状況に応じ、放出前に避難することもあります。

その後、放射性物質が環境へ放出された場合には、緊急時モニタリングを実施し環境における放射線の量を測り、OILに照らして区域ごとに避難を実施することとなります。



身のまわりの放射線はこれまでどのように変化していますか？

A 1950～1960年代を中心に実施されていた大気圏内核実験では、多くの放射性物質が環境中に放出され、雨やちりと一緒に地表に降り続けました。1981年以降大気圏内核実験は停止され、その量は少しずつ減ってきましたが、1986年のチェルノブイリ原子力発電所事故により、セシウム-137をはじめとする放射性物質が放出され、日本でも一時的に増加しました。2011年3月、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故においてもセシウム-137などの放射性物質が放出されましたが、青森県内で検出された放射性物質は微量であり、健康への影響はありません。

モニタリングに関するお問合せはこちら

青森県環境生活部原子力安全対策課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL: 017-722-1111 (代) 直通: 017-734-9252・9253

青森県原子力センター青森市駐在

〒030-8566 青森市東造道1-1-1 (青森県環境保健センター内)
TEL: 017-736-5417 (代)

青森県原子力センター

〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎400-1
TEL: 0175-74-2251 (代)

青森県原子力センター東通村駐在

〒039-4292 東通村大字砂子又字沢内5-34 (東通村役場内)
TEL: 0175-27-2111 (代) (内線281)



編集・発行 青森県環境生活部原子力安全対策課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL: 017-734-9252
発行年月日 平成26年11月18日

このパンフレットは、広報・調査等交付金により作成したものです。この印刷物は71,500部作成し、企画から印刷までの作成経費は一部あたり25円です。



原子力環境だより

モニタリング つつしん あおもり

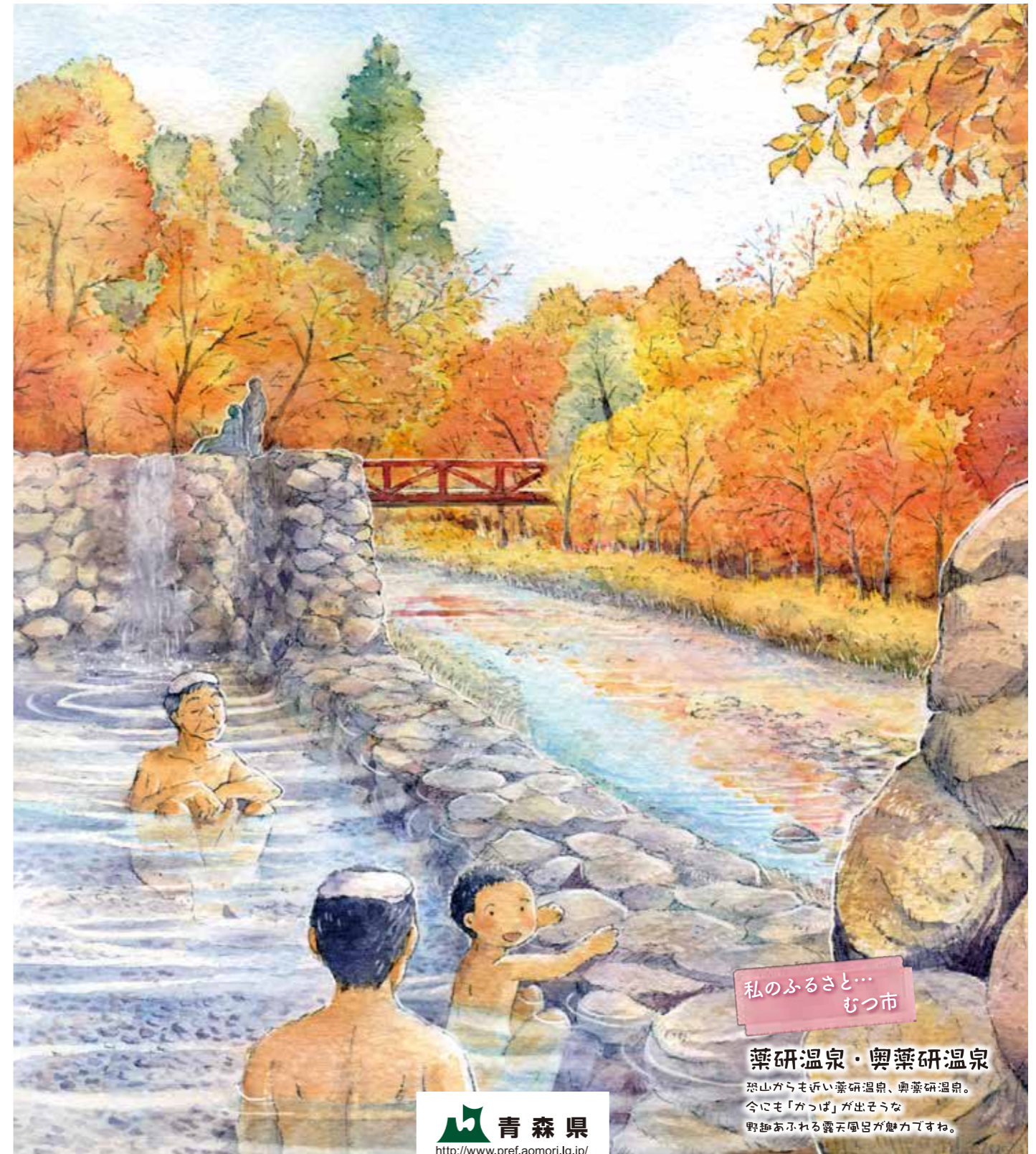
No. 94

2014.11 AUTUMN

平成26年度
第1四半期報

CONTENTS

- 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果①
- 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果……②
- リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング結果③
- 環境放射線等モニタリングのしくみ……④
- 東通原子力発電所温排水影響調査結果……⑤
- お知らせ～原子力災害避難対策検討会を開催しました～⑩⑪
- なるほどQ&A……⑫



私のふるさと…
むつ市

薬研温泉・奥薬研温泉

恐山から近い薬研温泉、奥薬研温泉。
今こそ「かっぱ」が出そうな
野趣あふれる露天風呂が魅力です。



原子燃料サイクル施設に係る 環境放射線等モニタリング結果

平成26年度第1四半期(平成26年4月～平成26年6月)の調査結果



平成26年4月～平成26年6月の調査結果は、平成26年10月30日に開催された「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった」と評価されました。

空間放射線



空間放射線

人間が体外から受ける空間放射線には、宇宙から降りそそいでくるもの(宇宙線)や、大地などからのものがあります。宇宙線の量は、緯度によって差がありますが、同じ場所であればほとんど変わりありません。また、大地などからの放射線の量は、地質の違いなど場所によって差があります。

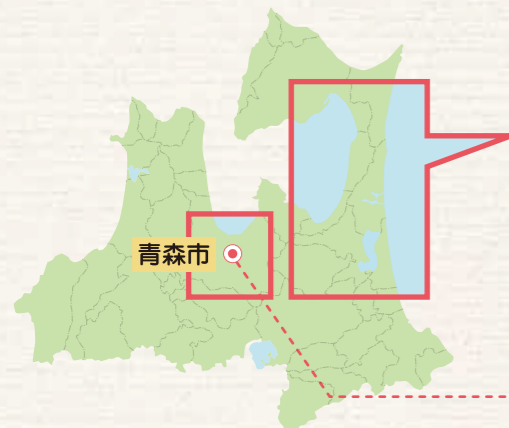
空間放射線は、同じ場所であっても、気象条件などによって変動し、特に、雨や雪が降ると一時的に高くなります。また、雪が積もっている冬の間は、大地からの放射線がさえぎられるため、平均的に低くなります。

空間放射線量率

1時間当たりの空間放射線量を表します。この調査で使用している測定器は、エネルギーの高い宇宙線を除くようにしているため、グラフに示している空間放射線量率は、主に大地などからの自然の放射線によるものです。

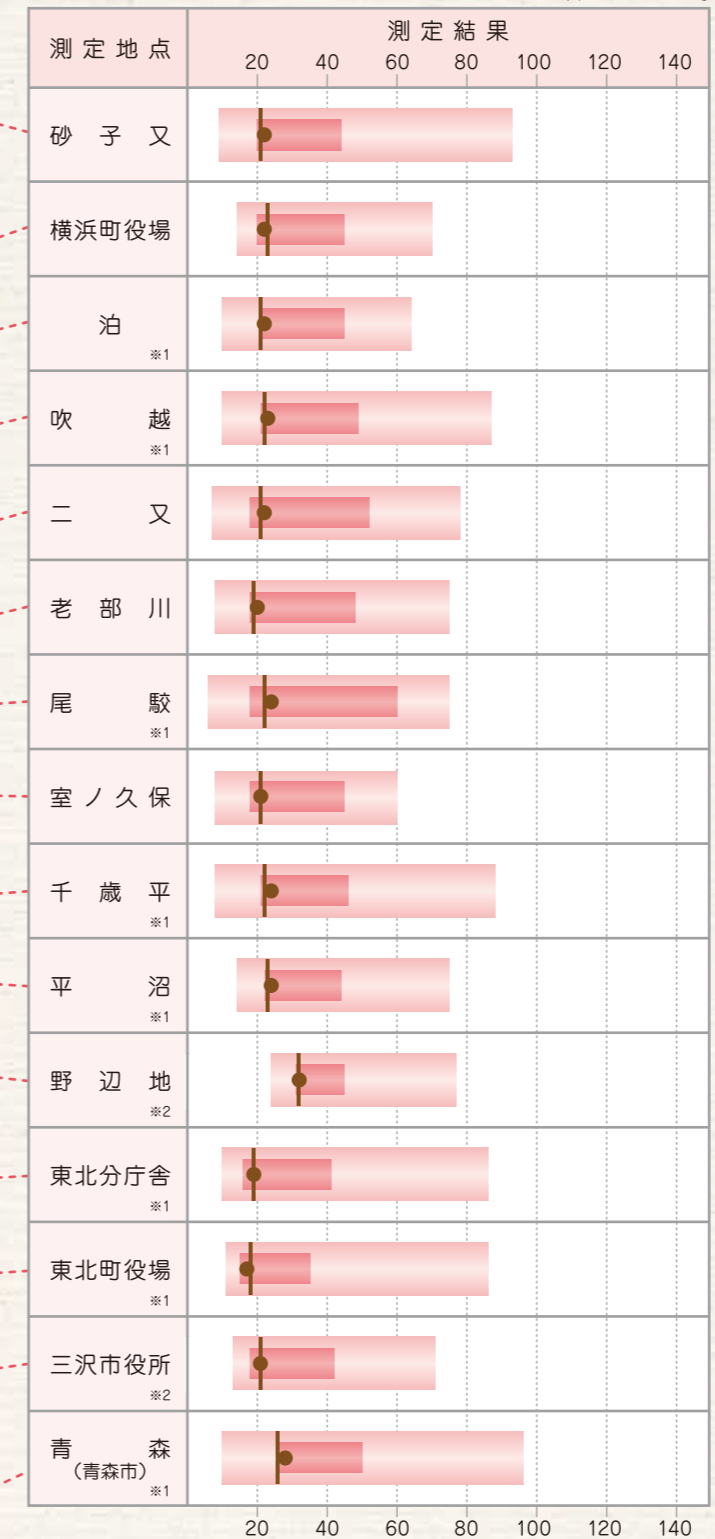
積算線量

RPLD(蛍光ガラス線量計)をモニタリングポイントに設置し、3か月間の空間放射線の積算量を測定しています。



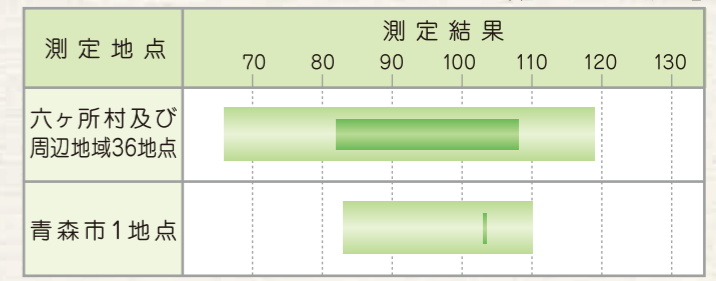
1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



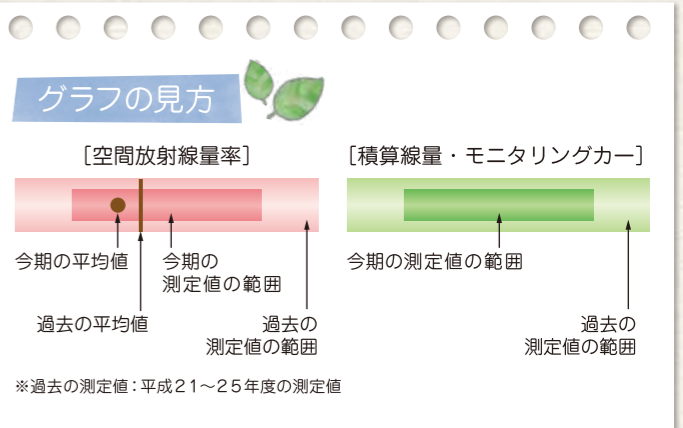
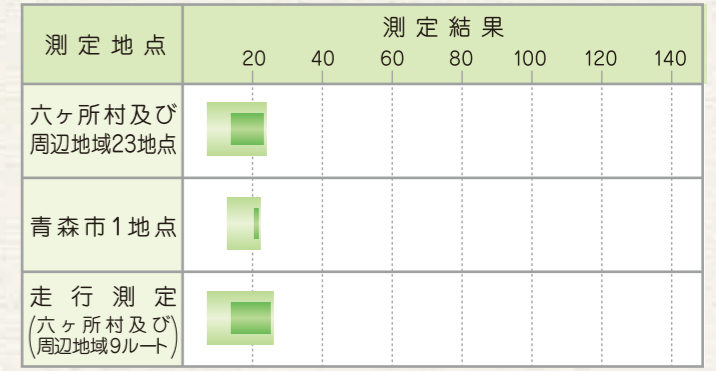
2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日



3 モニタリングカーによる空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



※1.平成22年度に測定器を更新したため、平成23～25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。
 ※2.平成24年1月に測定局舎舎を移設したため、平成24～25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。

原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果

平成26年度第1四半期(平成26年4月~平成26年6月)の調査結果

環境試料中の放射能

グラフの見方

① 大気浮遊じん(全アルファ放射能/全ベータ放射能)の場合

今期の測定値の範囲 平成25年度までの測定値の範囲※3
 検出限界※1以下の測定値は0として表示しています。
 ※1. 検出限界: 大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能については、測定条件(採取空気量等)が変動するため、計数誤差の3倍を検出限界として設定しています。

② その他の場合

平成25年度までの測定値の範囲※3
 定量下限値 今期の測定値の範囲
 定量下限値※2未満の測定値が含まれる場合、定量下限値未満の範囲をグラデーションで表示しています。
 ※2. 定量下限値: 測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・測定項目ごとに定めているものです。
 ※3. 平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響と考えられる測定値は除外しています。

ベクレル(Bq): 放射能

放射能は放射線を出す能力のことで、放射能を持つ物質を放射性物質といいます。放射能の強さは1秒間に壊変する原子核の数で表され、ベクレルという単位を用います。私たちの体にも放射性物質が含まれており、例えば、体重60kgの人の体には、炭素-14が約3000ベクレル存在します。

試料の種類	採取時期	記号	測定結果	単位	
			0.0001 0.001 0.01 0.1 1 10 100 400		
大気浮遊じん	4, 7, 10, 1月	☁️	全アルファ放射能	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	~0.1	
			セシウム-134	~0.01	
			セシウム-137	~0.01	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム	~0.01	
ウラン	~0.01				
大気(水蒸気状)	毎月	☀️	トリチウム	~10	ミリベクレル/立方メートル
			フッ素	~0.1	
大気(粒子状物質等)	4, 7, 10, 1月	☁️	ベータ放射能	~0.1	マイクログラム/立方メートル
			ヨウ素-131	~0.01	
大気(気体状)	連続	☁️	フッ素	~0.1	キロベクレル/立方メートル
			ヨウ素-131	~0.01	
表土	7月	🌱	セシウム-134	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	~0.01 (対象外)	
			ストロンチウム-90	~0.01 (対象外)	
			ヨウ素-129	~0.01 (対象外)	
			プルトニウム	~0.01 (対象外)	
			アメリカシウム-241	~0.01 (対象外)	
			キュリウム-244	~0.01 (対象外)	
			ウラン	~0.01 (対象外)	
精米	収穫期1回	🌾	炭素-14	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム生
松葉	4, 10月	🌲	セシウム-134	~0.01	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.01	
			ウラン	~0.01	



試料の種類	採取時期	記号	測定結果	単位	
			0.0001 0.001 0.01 0.1 1 10 100 400		
大気浮遊じん	4, 7, 10, 1月	☁️	全アルファ放射能	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	~0.1	
			セシウム-134	~0.01	
			セシウム-137	~0.01	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム	~0.01	
ウラン	~0.01				
大気(水蒸気状)	毎月	☀️	トリチウム	~10	ミリベクレル/立方メートル
			フッ素	~0.1	
大気(粒子状物質等)	4, 7, 10, 1月	☁️	ベータ放射能	~0.1	マイクログラム/立方メートル
			ヨウ素-131	~0.01	
大気(気体状)	連続	☁️	フッ素	~0.1	キロベクレル/立方メートル
			ヨウ素-131	~0.01	
降下物	毎月	☔️	セシウム-134	~0.01 (対象外)	ベクレル/平方メートル
			セシウム-137	~0.01 (対象外)	
			ストロンチウム-90	~0.01 (対象外)	
			プルトニウム	~0.01 (対象外)	
			ウラン	~0.01 (対象外)	
			トリチウム	~10 (対象外)	
			セシウム-134	~0.01 (対象外)	
			セシウム-137	~0.01 (対象外)	
雨	7, 10月(河川水)	🌊	セシウム-134	~0.01	ミリベクレル/リットル
水	4, 7, 10, 12月(湖沼水)		セシウム-137	~0.01	
陸水	4, 7, 10, 1月(水道水, 井戸水)	🚰	ストロンチウム-90	~0.01 (対象外)	ベクレル/リットル
			プルトニウム	~0.01 (対象外)	
ウラン	7, 10月(河底土)	🌱	セシウム-134	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	~0.01 (対象外)	
ヨウ素-129	10月(湖底土)	🌱	プルトニウム	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム乾
			アメリカシウム-241	~0.01 (対象外)	
キュリウム-244	7月(表土)	🌱	ウラン	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム乾
			フッ素	~0.01 (対象外)	
牛乳(原乳)	4, 7, 10, 1月	🥛	セシウム-134	~0.01	ベクレル/リットル
			セシウム-137	~0.01	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			ウラン	~0.01	
			フッ素	~0.01	
			ヨウ素-131	~0.01	
精米	収穫期1回	🌾	セシウム-134	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.01 (対象外)	
			炭素-14	~0.01 (対象外)	
			ストロンチウム-90	~0.01 (対象外)	
			プルトニウム	~0.01 (対象外)	
			ウラン	~0.01 (対象外)	
フッ素	~0.01 (対象外)				
野菜	収穫期1回	(ハクサイ, キャベツ, ダイコン, ナガイモ, パレिशヨ)	セシウム-134	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.01 (対象外)	
			炭素-14	~0.01 (対象外)	
			ストロンチウム-90	~0.01 (対象外)	
			プルトニウム	~0.01 (対象外)	
			ウラン	~0.01 (対象外)	
フッ素	~0.01 (対象外)				
牧草・デントコーン	5, 8月(牧草) 収穫期1回(デントコーン)	🌱	セシウム-134	~0.01	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.01	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム	~0.01	
			ウラン	~0.01	
			フッ素	~0.01	
淡水産生物	漁期1回(ワカサギ, シジミ)	🐟	セシウム-134	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.01 (対象外)	
			ストロンチウム-90	~0.01 (対象外)	
			プルトニウム	~0.01 (対象外)	
			ウラン	~0.01 (対象外)	
			フッ素	~0.01 (対象外)	
ヨウ素-131	~0.01 (対象外)				
松葉	4, 10月	🌲	セシウム-134	~0.01	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.01	
海産物	4, 7, 10, 1月	🐟	セシウム-134	~0.01	ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	~0.01	
トリチウム	4, 7, 10, 1月	🐟	ストロンチウム-90	~0.01	ベクレル/リットル
			プルトニウム	~0.01	
海底土	10月	🌱	セシウム-134	~0.01 (対象外)	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	~0.01 (対象外)	
			ストロンチウム-90	~0.01 (対象外)	
			プルトニウム	~0.01 (対象外)	
			アメリカシウム-241	~0.01 (対象外)	
			キュリウム-244	~0.01 (対象外)	
			ウラン	~0.01 (対象外)	
			フッ素	~0.01 (対象外)	
ヨウ素-131	~0.01 (対象外)				
海産物	漁期1回(ヒラメ, イナホテ, アヒ, ヒラメガエ, ウニ, コア)	🐟	セシウム-134	~0.01	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.01	
			トリチウム	~10 (対象外)	
			ストロンチウム-90	~0.01	
プルトニウム	~0.01				

東通原子力発電所に係る 環境放射線モニタリング結果

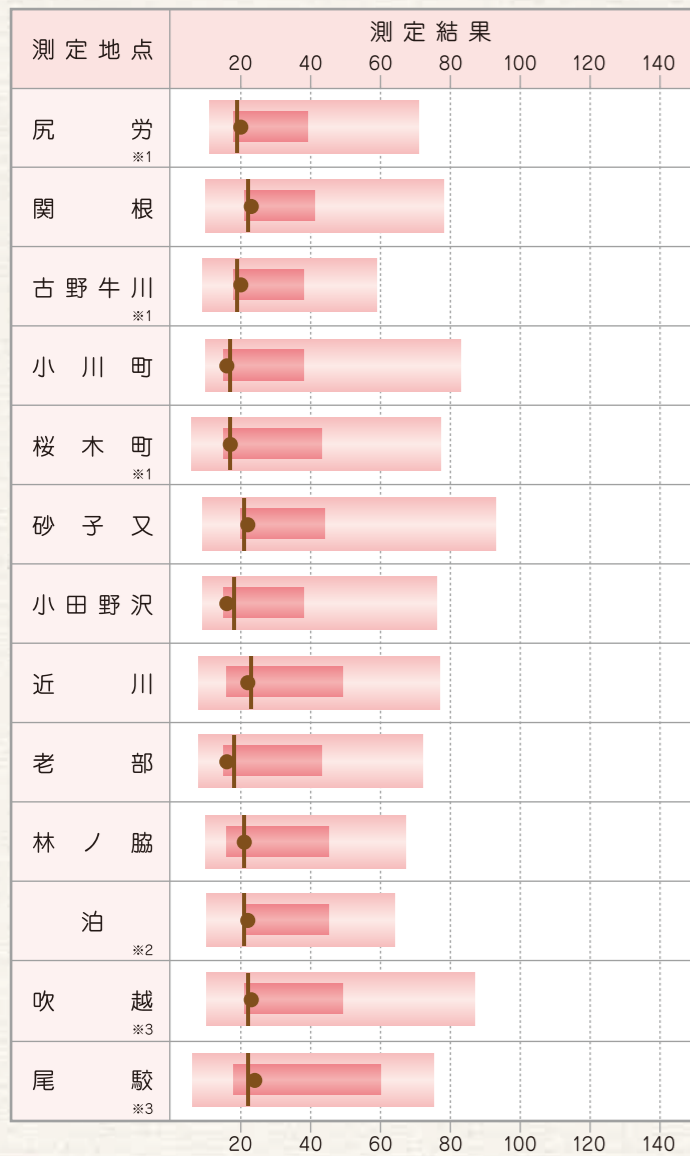
平成26年度第1四半期(平成26年4月~平成26年6月)の調査結果



空間放射線

1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



※1 平成25年4月に測定を開始しました。
 ※2 平成22年度に測定器を更新したため、平成23~25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。
 ※3 測定地点を追加し、平成23~25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。



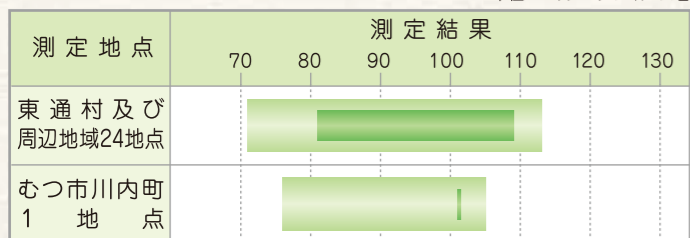
凡例

区分	県	事業者
モニタリングステーション及び積算線量計	●	●
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	◆
積算線量計	●	●

●: 東北電力株式会社 東通原子力発電所1号機排気筒

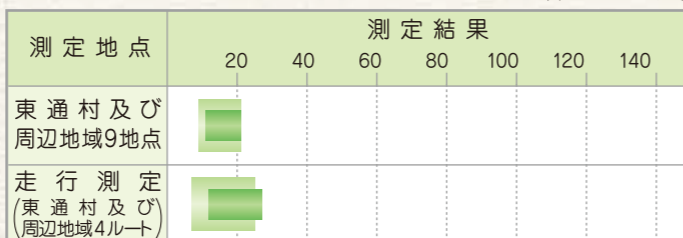
2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日

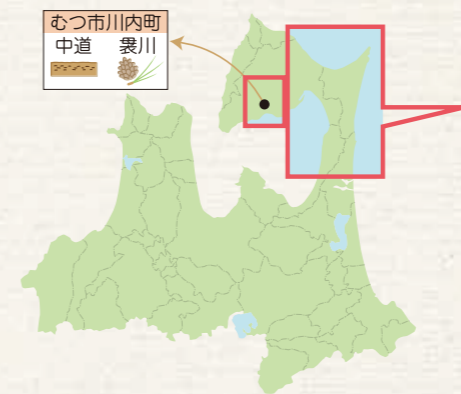


3 モニタリングカーによる空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



平成26年4月~平成26年6月の調査結果は、平成26年10月30日に開催された「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった」と評価されました。



環境試料中の放射能



●: 東北電力株式会社 東通原子力発電所1号機排気筒

試料の種類	採取時期	記号	測定結果						単位	
			0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10		
大気浮遊じん	連続	☁	全ベータ放射能	[Bar]						ベクレル/立方メートル
			セシウム-134	[Bar]						ベクレル/立方メートル
大気(気体状)	連続	☁	ヨウ素-131	[Bar]						ベクレル/立方メートル
			セシウム-134	[Bar]						ベクレル/立方メートル
降下物	毎月	☔	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/平方メートル
			セシウム-137	[Bar]						
			ストロンチウム-90	[Bar]						
			プルトニウム	[Bar]						
陸水	4.10月(河川水) 4.7.10.1月(水道水) 7.1月(井戸水)	💧	セシウム-134	[Bar]						ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	[Bar]						ベクレル/リットル
			トリチウム	[Bar]						ベクレル/リットル
表土	7月	🌱	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	[Bar]						
精米	収穫期1回	🍶	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar]						
野菜	収穫期1回	🥬	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar]						
			ヨウ素-131	[Bar]						
			ストロンチウム-90	[Bar]						
牛乳(原乳)	4.7.10.1月	🥛	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/リットル
			セシウム-137	[Bar]						
			ヨウ素-131	[Bar]						
牛肉	1月	🐮	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar]						
			ストロンチウム-90	[Bar]						
牧草	収穫期2回	🌿	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar]						
松葉	5.11月	🌲	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar]						
			ヨウ素-131	[Bar]						
			ストロンチウム-90	[Bar]						
海水	4.7.10.1月	🌊	セシウム-134	[Bar]						ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	[Bar]						
			トリチウム	[Bar]						
海底土	7月	🏠	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	[Bar]						
			プルトニウム	[Bar]						
海産生物	漁期1回 ヒラメ、カレイ、ウスメ、ハコ、コウナゴ、アイナメ、ホタテ、アサヒ、コンブ、タコ、ウニ、4.10月(チガイ)、7.1月(ムラサキガイ)	🐟	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar]						
			ストロンチウム-90	[Bar]						
			プルトニウム	[Bar]						
むつ市川内町	7月	🌱	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	[Bar]						
			プルトニウム	[Bar]						
松葉	5.11月	🌲	セシウム-134	[Bar]						ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	[Bar]						
			ストロンチウム-90	[Bar]						

リサイクル燃料備蓄センターに係る 環境放射線モニタリング結果

平成26年度第1四半期(平成26年4月～平成26年6月)の調査結果

空間放射線

むつ市において、現在リサイクル燃料貯蔵株式会社により「リサイクル燃料備蓄センター」の建設工事が行われています。県及びリサイクル燃料貯蔵株式会社では、平成20年度から同センターに係る環境放射線の事前調査を実施しています。

1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時

測定地点	測定結果						
	20	40	60	80	100	120	140
関根	[Bar chart showing values between 20 and 60]						
美付	[Bar chart showing values between 20 and 60]						

※美付は平成22年度第3四半期から調査を開始。

2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日

測定地点	測定結果						
	70	80	90	100	110	120	130
むつ市及び周辺地域7地点	[Bar chart showing values between 70 and 100]						
むつ市川内町1地点	[Bar chart showing values between 70 and 100]						

3 環境試料中の放射能

試料の種類	採取時期	記号	測定結果							単位
			0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	100	
東通村及びむつ市	土	7月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]				今期は対象外	ベクレル/キログラム乾
				セシウム-137	[Bar chart]				今期は対象外	
川内町	葉	5.11月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]				今期は対象外	ベクレル/キログラム生
				セシウム-137	[Bar chart]				今期は対象外	

★グラフの見方は、空間放射線はP2、環境試料中の放射能はP3をご覧ください。

グレイ(Gy): 吸収線量

いろいろな物質に放射線があたるとき、吸収される放射線量を数値に表したものです。

シーベルト(Sv): 実効線量

放射線や放射能の身体への影響を数値に表したものです。私たちは、自然界から年間平均2.4mSv(ミリシーベルト)の放射線量を浴びています。その他、人工的に浴びる放射線量の一年間の限度は1mSvとされています。

- 1Gy (グレイ)
 - ≡ 1,000mGy (ミリグレイ)
 - ≡ 100万μGy (マイクログレイ)
 - ≡ 10億nGy (ナノグレイ)
- 1Sv (シーベルト)
 - ≡ 1,000mSv (ミリシーベルト)
 - ≡ 100万μSv (マイクロシーベルト)
 - ≡ 10億nSv (ナノシーベルト)




環境放射線等 モニタリングのしくみ

県では、皆さんの健康と安全を守るため、施設から環境への影響をチェックしています。


- 六ヶ所原子燃料サイクル施設
- 東通原子力発電所
- むつリサイクル燃料備蓄センター

1 監視測定



原子力センター

県では、こちらの施設で県内の原子力関連施設から環境に影響があるかどうか常時チェックしています。



環境試料中の放射能の測定

水、土、農畜産物、海産物などの環境試料中の放射能を測定します。



空間放射線の測定

原子力施設周辺の空間放射線量率を測定し、公表しています。



2 データの評価・確認

青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議

- 学識経験者
- 立地市村・周辺市町村の長
- 関係団体の長
- 知事以下県職員など



3 データの公表

- 広報誌「モニタリングつうしんあおもり」
- ラジオ・新聞広告
- ホームページ「青森県の原子力安全対策」HPアドレス → <http://www.aomori-genshiryoku.com/>

東通原子力発電所 温排水影響調査結果

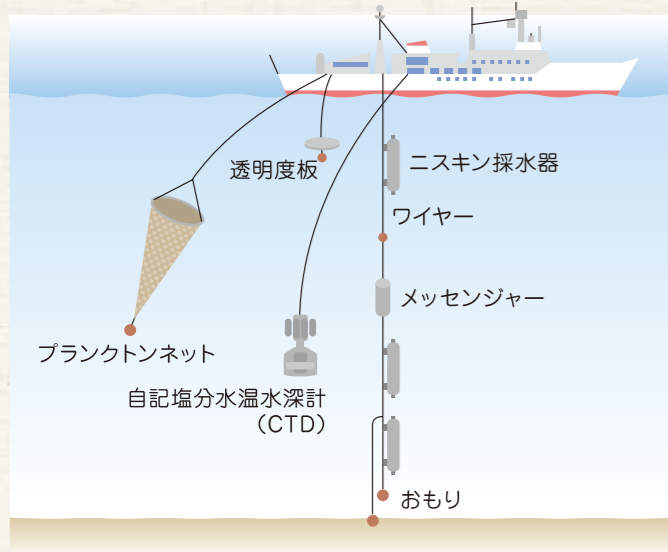
平成26年度第1四半期(平成26年4月～平成26年6月)の調査結果



青森県と東北電力株式会社は、東通原子力発電所の温排水が、施設前面海域及び周辺海域に与える影響を把握するため調査を実施しています。

水温・塩分

35調査地点において水温、塩分の測定を行った結果、表層の水温は、10.8～13.1℃、塩分は33.1～33.7の範囲でした。



流況

2調査地点において流向、流速の測定を行った結果、北～北東及び南～南南西に向かう流れが大部分で、流速は40cm/sまでが大部分でした。

海藻草類・底生生物

4調査線において分布状況を調査した結果、サビ亜科等58種の海藻草類と、キンコ科等7種の底生生物(平均個体数16個体/m²)が確認されました。

クロロフィルa

2調査地点において植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量を測定した結果、0.4～1.1μg/lの範囲でした。

卵・稚仔、プランクトン

8調査地点において魚類の卵、稚仔の出現状況を調査した結果、キュウリエソ等の卵の出現が確認されました。また、カタクチイワシ等の稚仔の分布が確認されました。

8調査地点において動物プランクトン、6調査地点において植物プランクトンの出現状況を調査した結果、主として節足動物プランクトンと、黄色植物、クリプト植物、緑藻植物及び渦巻毛植物プランクトンの分布が確認されました。



水質

8調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単位	測定結果
水素イオン濃度(pH)	-	8.1
化学的酸素要求量(COD)		
酸性法	mg/l	1.0～1.7
アルカリ性法	mg/l	0.4～0.7
溶存酸素量(DO)	mg/l	9.2～9.8
透明度	m	7.8～11.0
浮遊物質(SS)	mg/l	定量下限値未満～3
全窒素(T-N)	mg/l	0.11～0.33
全リン(T-P)	mg/l	0.011～0.019

底質

3調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単位	測定結果
化学的酸素要求量(COD)	mg/g 乾泥	0.3～0.9
強熱減量(IL)	%	1.1～2.6
全硫化物(T-S)	mg/g 乾泥	定量下限値未満

青森県農林水産部水産局水産振興課

〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL 017-722-1111(代)(内4113) 直通 017-734-9592

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所

〒039-3381 東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10 TEL 017-755-2155

東通原子力発電所温排水影響調査に関するお問合せ先は、右記の機関です。

お知らせ 原子力災害避難対策検討会を開催しました

東北電力(株)東通原子力発電所で事故が起きた時に、住民の皆さんが円滑に避難できるようにするため「原子力災害避難対策検討会(検討会)」を7月に設置しました。避難時における車の渋滞の解消や避難所の開設などの具体的な課題を、実際に現場で作業する県や市町村、県警察等で構成される部会で検討することにしており、8月29日に「移動対策」「情報連絡体制」「受入体制」の3部会を開催し、また9月22日に「医療機関・社会福祉施設等の避難計画」「被ばく医療対策」の2部会を開催し、それぞれの課題について検討をはじめました。

移動対策検討部会

参加機関 県、警察本部、東通村、むつ市、横浜町、六ヶ所村

- 主な課題 (1)PAZ圏内住民の避難方法 (2)UPZ圏内住民の避難方法 (3)避難者への移動中の情報提供 (4)避難者が車で移動する時の渋滞対策 (5)避難者などのスクリーニング(放射性物質付着の判断) (6)避難に手助けが必要な住民への対応

情報連絡体制検討部会

参加機関 県、青森市、弘前市、野辺地町、東通村、むつ市、横浜町、六ヶ所村

- 主な課題 (1)原子力災害が発生した時や平時の連絡体制 (2)避難元市町村と避難先市町村との連絡体制 (3)住民への情報連絡 (4)電話などの通信手段が途絶えた場合の対応

受入体制検討部会

参加機関 県、青森市、弘前市、野辺地町、東通村、むつ市、横浜町、六ヶ所村

- 主な課題 (1)受入・避難所運営マニュアルの作成 (2)避難者の自家用車等の駐車スペースの確保 (3)食料や毛布などの備蓄

医療機関・社会福祉施設等の避難計画検討部会

参加機関 県、青森市、弘前市、野辺地町、東通村、むつ市、横浜町、六ヶ所村

- 主な課題 (1)医療機関等の避難対策の枠組み (2)医療機関等に対する調査

被ばく医療対策検討部会

参加機関 県、青森市、弘前市、野辺地町、東通村、むつ市、横浜町、六ヶ所村

- 主な課題 スクリーニングにおける対応

【用語解説】

- PAZ(Precautinary Action Zone) 予防的防護措置を準備する区域
原子力発電所については、施設から概ね半径5キロメートル以内の区域
- UPZ(Urgent Protective Action Planning Zone) 緊急時防護措置を準備する区域
原子力発電所については、施設から概ね半径30キロメートル以内の区域
- OIL(Operational Intervention Level) 防護措置を判断する基準である運用上の介入レベル
避難や屋内退避などを判断する基準

空間放射線量率等の測定結果はこちらから確認できます。

パソコン用ホームページ <http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/atom1>

携帯電話用ホームページ <http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/atom1/m/index.cgi>